



【シスプラチン+ペメトレキセド療法について】



様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
パンビタン末	葉酸を含む総合ビタミンです	1日1回 内服																						
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																						
パロノセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分																						
ペメトレキセド注	抗がん剤です	10分																						
シスプラチン注	抗がん剤です	1時間																						

※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。

★治療日は、点滴開始～シスプラチン投与終了までに1000mL以上の水分をとりましょう。

治療翌日、翌々日は食事など通常の摂取量に加えて、1日あたり1000mL程度の水分を追加摂取しましょう。

😊 治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	皮疹																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
手足のしびれ																							
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																						
検査値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい等を心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						
腎機能低下																							
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																						
肝機能低下																							
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。